



令和2年9月定例会（令和2年度補正予算）—— P 2

令和2年9月定例会（議決結果）—— P 3

一般質問 —— P 4

新型コロナウイルス感染症対策に関する

市長要請（第3回）—— P 18

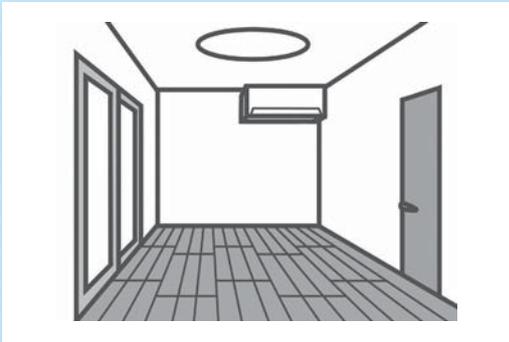
新議員紹介・委員会構成 —— P 19

令和2年 9月定例会（令和2年度補正予算）

9月定例議会は、9月9日から10月1日までの23日間の会期で開かれ、令和2年度一般会計補正予算など予算議案4件、市長の退職手当の特例に関する条例制定など条例5議案、人事その他10議案が上程されました。審議、採決の結果、議案はすべて原案のとおり可決されました。

また、委員会提出議案「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出について」、市議会の議員定数を次回一般選挙から1削減する議員提出議案「境港市議会議員定数条例の一部を改正する条例制定について」は原案のとおり可決されました。提出があった請願2件、陳情1件は審査、採決の結果、すべて採択となり、それにもとづく意見書提出にかかる議案3件も原案のとおり可決されました。閉会日に上程された「令和元年度決算の認定について」は10月中に審査を行いました。

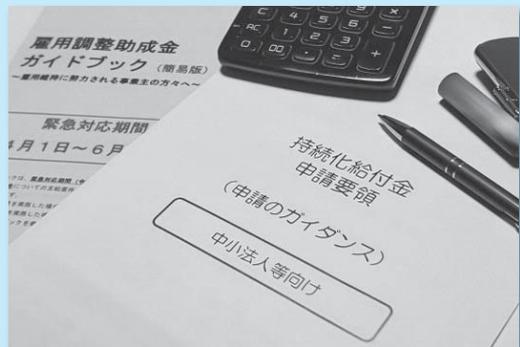
議決結果はP3に掲載しています。また市議会ホームページでもご覧になれます。



生活困窮者自立支援事業 （住居確保給付金）

生活困窮者などに住宅の家賃支援を行う事業の申し込みの増加や給付期間の延長を見込み、給付金を増額する

198万円



経営持続化応援給付金

国の持続化給付金の給付対象とならない、売上げが前年同月比で15～50%減少している中小企業者などに市独自の給付金を給付する

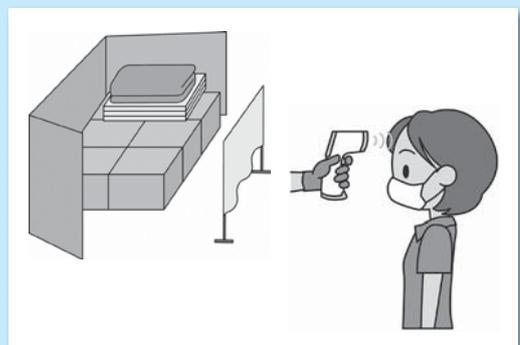
3,000万円



インフルエンザ予防接種費 小児インフルエンザ予防接種助成事業

インフルエンザ予防接種を受ける高齢者、乳幼児の増加が見込まれるため、予防接種委託料を増額する

929万円



新型コロナウイルス感染症対策 指定避難所環境整備事業

避難所の間仕切りや非接触型体温計を購入し災害に備える

150万円

令和2年9月定例会 議決結果

◆議案（人事）

番 号	案 件	議決結果
第53号	教育委員会委員の任命について	同 意（全会一致）
第54号	公平委員会委員の選任について	同 意（全会一致）
第55号	職員懲戒審査委員会委員の任命について	同 意（全会一致）
第56号	職員懲戒審査委員会委員の任命について	同 意（全会一致）
第57号	人権擁護委員候補者の推薦について	推薦に同意（全会一致）

◆議案（予算）

番 号	案 件	議決結果
第59号	令和2年度境港市一般会計補正予算（第5号）	原案可決（全会一致）
第60号	令和2年度境港市国民健康保険費特別会計補正予算（第3号）	原案可決（全会一致）
第61号	令和2年度境港市介護保険費特別会計補正予算（第2号）	原案可決（全会一致）
第68号	令和2年度境港市一般会計補正予算（第6号）	原案可決（全会一致）

◆議案（条例）

番 号	案 件	議決結果
第58号	境港市税条例の一部を改正する条例制定について	原案可決（全会一致）
第62号	市長の退職手当の特例に関する条例制定について	原案可決（全会一致）
第63号	境港市新型コロナウイルス感染症対策利子補給基金条例制定について	原案可決（全会一致）
第64号	境港市税条例等の一部を改正する条例制定について	原案可決（全会一致）
第65号	境港市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	原案可決（全会一致）

◆議案（その他）

番 号	案 件	議決結果
第66号	財産の取得について（はまる一ぶバス新車1台購入）	原案可決（全会一致）
第67号	市道の路線の認定について	原案可決（全会一致）
第69号	特別功労表彰者の決定について（榎田 知身 氏）	原案可決（全会一致）
第70号	特別功労表彰者の決定について（安田 優子 氏）	原案可決（全会一致）
第71号	特別功労表彰者の決定について（中村 勝治 氏）	原案可決（全会一致）

◆請 願

番 号	案 件	議決結果
第1号	女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書の提出を求める請願	採択 意見書提出
第2号	選択的夫婦別姓の導入など、一日も早い民法改正を求める意見書の提出を求める請願	採択 意見書提出

◆陳 情

番 号	案 件	議決結果
第9号	国の責任による少人数学級の前進を求める陳情	採択 意見書提出

◆委員会提出議案

番 号	案 件	議決結果
第3号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出について	原案可決（全会一致）

◆議員提出議案

番 号	案 件	議決結果
第7号	境港市議会議員定数条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第8号	女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書の提出について	原案可決
第9号	選択的夫婦別姓の導入並びに女性のみ適用される再婚禁止期間の廃止を求める意見書の提出について	原案可決
第10号	国の責任による少人数学級の前進を求める意見書の提出について	原案可決

このほかに、報告案件2件と一般会計等の決算認定に関する議案9件（閉会中の継続審査）があり、令和元年度決算審査特別委員会が設置されました。

市政を問う

議員13人が一般質問を行いました。

【一口メモ】

境港市議会では、議員個人の立場・観点で行う「各個質問」と、所属する会派を代表して行う「代表質問」（3人以上の会派のみ）があります。

議会だよりの質問ページは、質問を行った1議員については最大1ページとしていますが、上記の「各個質問」と「代表質問」では性質や質問時間が異なるため、「代表質問」を行う場合は会派内でページの配分をしています。

各議員は掲載した以外にも質問していますが、議会だよりの場合は、スペースの都合上、議員本人が質問と答弁を要約しています。

ページ	質問事項		質問議員
5・6	代表質問	①まちづくりの基本姿勢について ②人口減少対策への取組みについて ③コロナウイルス感染症対策について	米村 一三
6	関連質問	①人口減少対策について	柊 康弘
7	関連質問	①美保湾などの海辺の活用について ②ICTの活用について	平松 謙治
8・9	代表質問	①伊達新市長の所信表明について ②「さかな」「鬼太郎」「港」を生かした産業づくりについて ③「自然環境」「生活環境」について	荒井 秀行
9	関連質問	①公共施設マネジメントについて	築谷 敏雄
10	関連質問	①境港市民交流センター（仮称）の管理運営計画（案）について ②学校・保育施設芝生化の現状について	吉井 巧
11	各個質問	①公園遊具の更新について ②中野港周辺の現況についての認識と対応について	景山 憲
12	各個質問	①水木しげるロードについて ②道路整備について ③空き家対策について	加藤 文治
13	各個質問	①障がい者の重層的支援体制と地域共生社会に向けた取り組みについて ②GIGAスクール構想について	足田 法行
14	各個質問	①ウィズコロナ時代の「新しい生活様式」に向けた市政運営について ②本市の学校給食における地産地消の推進について	田口 俊介
15	各個質問	①コロナ禍のいま求められる教育環境について ②笑顔あふれるまち～市民の命と健康を守る取り組みについて ③自然環境・生活環境対策～今後の一般廃棄物処理構想について	安田 共子
16	各個質問	①島根原発2号機、3号機の再稼働、稼働について ②地球温暖化、海洋汚染防止の取り組みについて ③根平雄一郎さんの「たまえまる」の出版の意義と本を活用した平和教育について	長尾 達也
17	各個質問	①所信表明3点について ②コロナ禍の学校の現状について	松本 熙

議事録は議会事務局やホームページで閲覧できます。

「笑顔あふれるまち」への 第一歩は

市長

全職員が市民の気持ちに 寄り添い丁寧に対応



会派 きょうどう
米村 一三 議員

〔米村〕選挙戦で市長は、笑顔あふれるまちづくりを提唱された。私は、その第

一步は市職員全員の接客マナーの向上だと考える。数百人が働く市役所だが、全職員が優れた接客マナーを身につけているか、謙虚に見直すことも必要だ。

〔市長〕市役所職員の接客マナーのさらなる向上も優先して取り組む課題の一つと考える。

接遇については、新規採用時の研修で社会人としてのマナーについて学び、その後も職員の経験



新市長の執務デスク

年数などの段階に応じて研修を実施し、全職員が公務員として、常に市民の気持ちに寄り添って対応することが肝要と考える。

しかしながら職員の対応が不十分なことから苦情をいただくケースもみられ、各職員が接客に向けて改善すべき点があると考える。引き続き接客マナーの向上をはかり、丁寧な対応ができるよう指導する。

人口社会減の 要因分析が必要では

市長

圏域全体で若者に魅力 ある雇用創出に努める

〔米村〕人口の社会減の要因とされる進学で故郷を離れ、卒業後に帰郷する割合「若者回復率」の増加策が必要だ。その対策に女性の回復率を高める必要があるとの分析もある。いわゆるジェンダーギャップの解消だ。本市でもこの視点での分析が必要では。



若者のあふれるまちをめざして

〔市長〕過去の国勢調査の数値から算出すると、本市の若者回復率は28%となっている。社会減による若者の人口減は本市でも課題である。引き続き、本市への地元定着やUターンにつながるよう郷土愛づくりとして、小学生の地域学習や中学生の職場体験学習を通じ、ふるさと境港を大切にすることを

はぐくみたい。若者にとって魅力ある雇用創出のため、企業誘致などに取り組むが、本市だけで若者の希望する職種が全てそろわず、中でもないので、中海・宍道湖・大山圏域市長会においても圏域一体で雇用の創出に努める。

コロナ感染症への医療体制の拡充は

市長

感染症病床の拡大、検査機器の導入を実施



市民が頼りとする済生会境港総合病院

【米村】全国で新型コロナウイルス感染症が蔓延している。本市の市民が頼りとする済生会病院の感染症の医療体制はどのように拡充されたのか。

【市長】済生会病院では、感染症病床2床を4床に増加。さらに一般病棟内に感染防護壁や陰圧システムを設置し、対応できる病床を31床確保された。

受診の際には感染しているリスクの高い人の見極めや適切な医療を提供するために発熱トリージブースなどを設置するほか、入院患者への面会はオンラインで行っており、安心して受診や来院ができるよう感染予防に努めておられる。

検査体制は、ドライブスルー方式の検体採取に加え、精度はやや劣るものの抗原検査キットでの有症状者の検査を実施している。

10月には、現在は保有していないPCR検査機器4台の導入で、検査そのものが済生会病院で可能となることだ。

夕日ヶ丘団地での新しい制度とは？

市長

契約満了後に土地を対象者に譲渡する新制度



会派 ぎょうどう 康弘 議員

【柁】市長は所信表明で「人口減少対策」について述べられた。新型コロナウイルスにより地方回帰の機

運が高まりつつあり、移住にも関心が寄せられていること。夕日ヶ丘団地の定期借地権制度は、市外から移住された人の利用が約3割を占め、本市への移住・定住される人を呼び込む上で大きなアピールポイントとなっているが、加えて、「将来自分の土地や住まいを残したい人向けに貸し付けた土地を譲渡する新たな制度を創設す

る」と述べられたが、この制度とはどのような制度なのか具体的に説明を。

【市長】土地を自分の物にしたい人を対象に、契約期間中に支払った賃料の総額と契約時に預託する保証金の合計額が土地購入代金に見合うように設定した契約を締結し、契約満了後にその土地を対象者に譲渡する制度を考えている。



夕日ヶ丘団地のチラシ

海辺の賑わいと活用のイメージは

市長

地域の宝である
海の環境保全を



境港管理組合の長期構想図



〔平松〕市長の考える海辺の賑わいや活用のイメージは。〔市長〕海は魚介類などの豊かな恵みを与えてくれる存在であり、各種マリンスポーツ、釣りや海水

浴などレジャーの拠点である。境港管理組合では、境港長期構想の中に「マリナー機能の強化」「海釣り施設」「観水性のある砂浜確保」などを掲げている。ソフトバンクの子会社が鳥取県と協同して地創生をめざした各種ビーチスポーツの実証実験も行っている。さまざまな施策の実現に向け協力していきたい。そして海

の環境保全の取り組みが重要である。地域の宝である海を未来に残していくため、利用者・市民自らができることをしてもらえよう啓発していきたい。〔平松〕目的を達成するための方法は、多数ある。関係する人達とさまざまな手法を考えて実現させてほしい。

マイナンバーカード利用の効率化

市長

定額給付金では非効率と感じた

〔平松〕定額給付金申請でのマイナンバーカードを活用したオンライン申請数は。郵送での申請と比較し、業務の効率はどうだったか。〔市長〕216件の申請があり、205件を受理し、全体の約1.3%。オンライン申請では、申請内容

に間違いがあり受理とならないケースや、内容審査のために紙に印刷する必要があり非効率であると感じた。〔平松〕母子保健や児童手当の手続きサービスをオンラインにより年額約64万円使っているが過去2年間、利用がない。今年度の利用は。

〔総務部長〕現時点では利用はない。〔平松〕この現状を市長はどう思うか。〔市長〕利用しやすい環境整備が必要と強く感じた。〔平松〕他市の状況は。〔総務部長〕県内各市では利用実績はない。〔平松〕国に改善を求めてほしい。

「メリット」いっぱい「マイナンバーカード」

マイナンバーカードを申請し取得することで、暮らしが便利になります。

- 各種証明書をコンビニで取れる！
- スマホ・パソコンでラクラク
- 民間のオンラインサービスでも使える！
- 健康保険証として使えるようになる！
- e-Taxも、もっと便利に！
- スマホで、マイナンバーカードの電子申請がもっと便利に！

総務省・地方公共団体情報システム機構パンフレットより

事業計画には十分な意見集約が必要

市長

まちづくりは
住民の共感が重要と思う



自民クラブ
荒井 秀行 議員

〔荒井〕前市長のもと進めていた政策の中で、「変えるべき物」「追加すべき物」は何であるか。



住民とともに取り組んだ白尾の森整備事業

〔市長〕中村市政であまり進まなかった部分、予算化できなかった部分であり、「空き家対策」も見直したいと考えている。

〔荒井〕私は、市が事業の計画を立てる時、市民の意見集約を行いながら計画を作り上げることが不足していると感じているが、市長の見解をうかがう。

時、地域住民と一緒にやった事業として「白尾の森整備事業」を挙げる。計画、設計、施工の各段階で住民とコミュニケーションを取りながら実施した。まちづくりは住民の共感を得て行うことが重要だと思っている。

〔荒井〕事業計画を策定する時は、意見集約と丁寧な説明をして、事業の推進をお願いする。

水木記念館と直売センターの改修は

市長

記念館、直売センター
ともに検討中

〔荒井〕水木しげる記念館と境港水産物直売センターの改修計画の進捗状況についてうかがう。

〔市長〕現在、当記念館は、建て替え候補地の調査を実施。結果を受けて、「水木しげる記念館あり方検討委員会」での意見聴取や水木プロ

ダクションの意向も確認し、候補地、整備方法などを検討する。直売センターについては、事業主である山陰旋網漁業協同組合が、建て替えをするための助成金の申請中である。その場で食べることもできる飲食スペースや多目的トイレの設置などを計画している。

〔荒井〕水木しげる記念館と海とくらしの史料館、境港水産物直売センターのルートは境港市の最も重要な観光ルートである。さらに、史料館の位置づけと「道の駅」の活用が重要だと思う。

〔市長〕各施設の連携をはかり、観光振興に取り組んでいく。



境港の海岸通り

メタンハイドレートの取り組みは

港湾施設などを最大限生かす方策を探る

市長

【荒井】本市は自然豊かな町である。しかし、地球温暖化やそれにもなう異常気象など、自然環境は危機に瀕（ひん）している。再生エネルギーの推進が必要である。隠岐諸島周辺でメタンハイドレート鉱床が確認されている。



自然環境豊かな美保湾

【市長】国において調査研究が進められている。鳥取県もその研究に取り組んでおり、本市も港湾などの施設を最大限生かせる方策を探っていききたい。

【荒井】空き家対策とまちの機能維持をどう考えるか。
【市長】まちの機能を維持するため、空き家対策は喫緊の課題である。使用可能な空き家は、利活用に必要な費用の一部の助成も検討する。
【荒井】同時に狭隘（せうがい）道路の対策も不可欠。対策を要望する。

公共施設について市民アンケートを

市長

市民の意見を聴きながらきちんと対応する



自民クラブ 築谷 敏雄 議員

【築谷】今後の公共施設の方向性についての市民アンケートが必要では。
【市長】地域コミュニケーションや利用者の利便性を考慮し、施設

の長寿命化をはかり、修繕費などの平準化に努め、未来につけを回さない行財政運営を進めていく考えである。今後の公共施設のあり方について市民アンケートなどを実施する考えはない。
【築谷】公共施設マネジメントの重要性を知ってもらうためにも必要では。
【市長】施設の事業費や推計・計画などについて、市民のみ



公共施設マネジメントが求められる市の施設

なさんからの意見を聴きながら、きちんと対応をする。
【築谷】誠道小学校跡地利用は。
【市長】誠道町民のアンケートや、民間事業者などの提言も参考にしながら、跡地利用案をまとめており、公共団体への貸与や、地域の方々がふれあうことのできるスペースなどの活用を検討している。

施設利用時間の柔軟な対応は可能か

教育長

利用時間などについては、
検討の余地はある



自民クラブ 吉井 巧 議員

【吉井】仕事帰りの会社員や米子に通う学生が利用できるように、図書交流広場などの利用時間に關

して、柔軟に対応できるかどうか。【教育長】これまで利用時間については、県立図書館のアドバイスをいただき議論してきました。まだ条例で決まっていので、今後検討の余地はあると思う。【吉井】市民の声を聴き、多くの市民に利用してもらえように柔軟な対応をお願いする。多くの市民が施設を幅広く活用するた

めに、どのように相乗効果を生み出し融合させていくかがう。【教育長】ホール公演とタイアップした図書交流広場での図書展示、平土間を利用した避難所運営訓練などが想定される。また、各機能の相互連携が効果的に行われるように、各施設の管理運営団体の代表者で構成する運営協議会を設置する。



図書交流広場（イメージ）

校庭芝生の維持、備品修繕について

教育長

スプリンクラーの
シーズン前定期点検を行う

【吉井】保育園、小学校、中学校の芝生から10年経った今、芝生管理備品の老朽化もあると思うが、維持管理や備品修繕などについてうかがう。【教育長】公立保育園に関しては、芝刈り機の刃の定期交換

や修理、冬芝の種まきなどを行っている。学校の校庭は、シルバー人材センターへ維持管理を委託している。芝生の維持管理に必要な乗用の芝刈り機は、シーズン前に定期点検し部品交換などの修繕は行っている。スプリンクラーについては、定期点検は行っておらず故障が発生した際に必要な

修繕を行っている。来年度以降はシーズン前の定期点検を予定している。【吉井】スプリンクラーが図面上設置してある箇所がなく、芝生に散水できず枯れてしまっている校庭もある。今後、必要な備品のしっかりとした定期点検と維持管理をするよう求める。



校庭芝生スプリンクラー散水（イメージ）

子どもの年齢に沿った遊具の更新を

市長

幅広い年齢に合わせた更新を行う



自由市民と共に
景山 憲 議員

【景山】子どもが成長する過程で、公園などでのびのび体を動かすための遊具の設置は重要なことで



公園の遊具

あり、公園遊具更新事業にあたっては、年齢に応じた遊具を設置すべきでは。乳幼児から小学校低学年まで幅が広く、当然遊具にも幅があるものと考える。見解をうかがう。

【市長】子ども年齢層に合わせた遊具の設置は、子どもの成長にとっても必要なことと認識している。今後も自治会、子供会などの意見を聴きながら幅広い年齢に合わせた遊具更新を行う。

【景山】新たな遊具や場所についても検討することだが、具体的にはどうか。

【市長】夕日ヶ丘メモリアルパークにおいてもさらに幅広い年齢層に利用されるよう、幼児向け遊具も検討している。また、他の公園でも条件が合えば新たな遊具の設置も検討する。

承水路の通水機能改善に向け対策を

市長

境港管理組合と協力して対応したい

【景山】下ノ川の最下流部の改修についての年次計画は。また、適切な管理の方針は。

【市長】下ノ川の改修については、昨年度調査設計を実施し、今年度から改修工事に着手する。今年度の施工箇所は、昭和町の国道431号外港入口交差点から北側約90mを予定している。来年度以降も危険性が高い箇所から順次改修していく計画である。下ノ川は、市街地の雨水の重要な排水路であり、年次計画に沿った改修を含む適切な管理に努める。

【市長】中野港周辺の承水路は、住宅地からの雨水排水を受けける役割を果たすものであり、市でも管理の必要性を感じている。浚渫など維持管理について境港管理組合と協力して対応したい。



中野海浜公園沿いの承水路の現況

まちづくり専門の部署の創設を



自由市民と共に
加藤 文治 議員

市長

関係部署が綿密に連携をとりながら対応

【加藤】妖怪倉庫が閉店となり水木しげるロードの魅力が減った。日々考える職員がいることで、より強くまちづくりを推進することができると。まちづくり専門部署の創設を。

【市長】水木しげるロードリニューアル事業などプロジェクトチームを設置し、関係部署が綿密に連携をはかりながら取り組んできた。職員数が少ない本市では専門の部署を設置するのではなく、関係部署が綿密に連携をとりながら対応していく。

市道の年次整備計画の説明を

市長

優先度の高い道路から年次的に整備を行う



臨港道路の雑草の状況

【加藤】既存市道の年次計画はいかに。

【市長】損傷度や重要度、交通量などを勘案し優先度の高い道路から整備する。

【加藤】臨港道路は、4つの所管に分かれている。改修の時期や維持管理の時期を合わせては。

【市長】整備概要や施工時期については情報を共有し、調整をはかっている。

【加藤】草刈りなどの維持管理の時期を共有しては。

【市長】引き続き関係者と調整をはかり、維持管理に努めたい。

空き家対策について

市長

新たな制度やしくみの導入を検討



利活用が望まれる
植田正治氏の生家

【加藤】空き家対策については、都会の企業に売り込みをかけるなど、しくみを考える必要もあるのでは。

【市長】空き家情報バンクを開設しているが、2地域居住などライフスタイルの動向、先進地の事例や、議員の提案なども参考に、新たな制度やしくみの導入について検討する。

【加藤】空き家活用を推進するためには、空き家状況のデータベース化を。

【市長】官民と連携し所有者や利用者の意向確認をする。

地域共生社会の実現について

市長

誰もが住み慣れた地域で暮らせるよう整備



公明党 定田 法行 議員

【定田】障がい者とその家族を地域で支援する地域生活支援拠点の設置状況と地域共生社会の実現についてうかがう。



地域共生社会の実現

【市長】地域生活支援拠点は、令和2年度までに整備する。今ある複数の福祉資源を活用して「面的整備」型の体制整備を進めるため、まず各事業所との連絡体制を確保し、相談機能と緊急時の受け入れ対応の2点から始める予定。拠点整備は、誰もが安心して暮らす共生社会の実現の一つのステップであり、取り組みを進めていく。

【定田】相談支援を充実し一本化した上で、中重度障がい者の対応は既存の各民間事業者による契約サービスを中心で行い、軽度障がい者の対応については住民・ボランティア中心で支援していく拠点を整備を望む。

【福祉保健部長】障がい者とその家族が住み慣れた地域で暮らしていけるよう、地域生活支援拠点作業部会において検討・協議していく。

プログラミング教育の決意を問う

教育長

主体的に学習に向き合う力を子どもたちに

【定田】GIGAスクール課題は。【教育長】校内通信ネットワークと学習用パソコンの環境整備が令和2年度内に完了の予定。まず学校内でオンライン学習を進める。リモートによるオンライン学習は、通信環境がない家庭も考慮して、今後、公民館の通信環境を整備し、公民館を利用した分散型の遠隔授業を検討する。オンライン学習を進めていく上では、情報化推進リーダーの育成、教



主体的に学ぶプログラミング教育

員のスキルアップをはかるため、研修の有効活用、ICT支援員の増員など各学校を支援する体制づくりが必要と考える。不安のある保護者もあるので、児童生徒に情報モラル教育を進め、不安を解消していく必要がある。

【定田】プログラミング教育への教育長の決意を問う。

【教育長】ICTを使いながら、主体的に学習に向き合う力を子どもたちにつけていきたい。

スーパーシティ構想に 踏み出しては

市長

国の動きに注視して
研究していきたい



AI・ICTを活用した住民目線の
未来都市をつくることを目的とした
「スーパーシティ構想」



公明党
田口 俊介 議員

〔田口〕他の自治体
では国の慰労金の対
象になっていない保

育現場や児童クラブ
の職員へ独自に支給
する例もみられるが
本市でも検討しては
どうか。

〔市長〕コロナ禍の
影響を受けている市
内企業や市民が多く
いる現状を考えると、
さまざまな視点
から検討が必要であ
り、現時点では考え
ていない。

〔田口〕大きな方向
性として、国のスー
パーシティ区域指定
の公募に手を挙げる
考えはないか。

〔市長〕国の動きに

注視して研究した
い。

〔田口〕生活圏から
見れば、米子市と一
緒になった応募も考
えられるが。

〔総務部長〕米子市
とも機会をとらえ一
緒に研究したい。

〔田口〕行政のデジ
タル化へはどのよう
な施策を進めるか。

〔市長〕税や住民票
などのコンビニ納付
と交付サービス開
始、AI・RPAの
活用を進め、効率化
をはかっていきた
い。

給食の県産品使用率 向上への課題は

教育長

県の算定方式では
実情が反映されにくい

〔田口〕学校給食に
おける県内産食材の
使用率向上の取り組
みについて問う。
〔教育長〕食材発注
の際に県産品の優先
納入を仕様書に記載
するほか、「野菜の
会」と毎月協議し、
地元野菜を優先的に
納入できるよう努め
ている。

〔田口〕現在の本市
の県内産食材の使用
率は県内で最も低い
数値となっている
が、原因と今後の取
り組みは。
〔教育長〕過去には
70%を超えていた
が、センター化と中
学校給食開始を機に
食数が増えたことに
より、使用率は低下
している。また、県
の実施する使用率の
算定方法では、地域
の実情が反映されに



安心安全な食材で、安価で美味しいメニューに
工夫を重ねている、境港市の学校給食

くい状況もあり、見
直しについて本市の
考えを伝えた。
〔田口〕県の方式に
ついて異論があるの
なら、その声を集め
て県に上げては。
〔教育長〕県議会で
も議論となったよう
だが、方針を変える
ということにはなら
なかったようだ。

少人数学級の実現可能性は



日本共産党境港市議団
安田 共子 議員

教育長

国でも議論され、
全国市長会も要望している

【安田】現在取り組んでいる小1〜2、中1での少人数学級の有効性は。

【教育長】児童生徒一人一人に目を届かせ理解度を確認しながら授業を進めることができる。密集を防ぎ、安心感につながっている。

【安田】30人以下学級の実現可能性は。

【教育長】国では少人数によるきめ細かな指導体制の計画的な整備、環境整備のあり方について議論されている。全国市長会などでも小中学校の少人数学級の拡充を要望している。

防災無線戸別受信機の無償貸与を

防災監

視聴覚障がい者には
無償貸与する

【安田】エアコン設置費用の一部助成は来年度も実施するべきでは。

【市長】検討して来年度も続くように考えています。

【安田】コロナ禍の影響が続く中、厚生労働省と同様に「ためらわずに生活保護



さまざまな制度を使って
コロナ禍、猛暑、災害から身を守りましょう

【安田】エアコン設置費用の一部助成は来年度も実施するべきでは。

【市長】検討して来年度も続くように考えています。

【安田】コロナ禍の影響が続く中、厚生労働省と同様に「ためらわずに生活保護

一般ごみ処理施設整備 市民へ説明を

市長

市民の代表である議会の
議決を得ている

【安田】西部9自治体の一般ごみ処理施設を1〜2カ所に集約、整備し、令和16年に稼働する西部広域行政管理組合の構想について市民へ説明を。

【市長】広域処理施設設置については平成16年度に議会の議



境港市が可燃物処理を委託している米子市クリーンセンター（令和16年まで稼働予定）

決を得て、市民の代表である市議会の理解をいただいた。今後管理組合がパブコメを予定している。

【安田】ごみ削減・抑制の具体策が示されるべきでは。

【市長】他市町村と十分に協議、検討していく必要がある。

コロナ禍の中での 原発避難計画は？



日本共産党境港市議団
長尾 達也 議員

市長

実効性が確保できるように
改定を行う予定

〔長尾〕「コロナ禍の中で3密を避け、十分対策をとった原発災害時の避難計画は、できているか。安全に避難できる計画なくして原発の再稼働・新規稼働など論外と考えるがどうか。8月に福井県で国主導で初めて避難訓練が行われ、住民27人の避難にバス4台が準備された。」

〔市長〕「現在、国と周辺自治体2県6市の作業部会で検討を進めている。市の「広域住民避難計画」の実効性が確保できるように必要な改定を行う予定。」

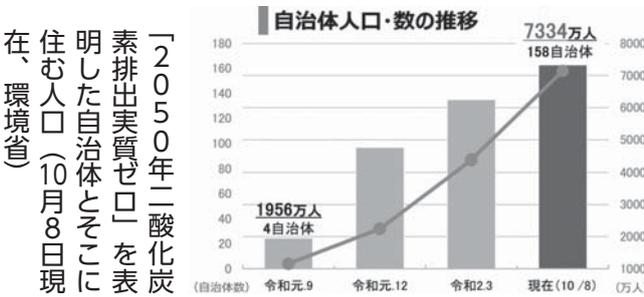
地球温暖化防止を 表明し行動を

市長

1日も早くゼロカーボン
シティ表明を行う

〔長尾〕「全国で「2050年二酸化炭素排出実質ゼロ表明」「気候非常事態宣言」を行い、取り組む自治体が急速に広がっている。市が「表明」「宣言」をし、ふさわしい目標をもち、行動することは、政府に真剣な取り組みを迫るとともに、市民参加で、取り組みをすすめる大きな足がかりになる。1日も早い「表明」「宣言」を。」

〔市長〕「表明」は1日も早く行いたい。「宣言」は先進地の状況を聞きながら検討していきたい。」



〔2050年二酸化炭素排出実質ゼロ〕を表明した自治体とそこに住む人口(10月8日現在、環境省)

「たまえまる」を活用し 平和教育を

教育長

小中学校の平和学習に
積極的に活用する



根平雄一郎氏が出版した本、「たまえまる」

〔長尾〕「玉栄丸爆発事故は、終戦の年に山陰地方で起こった最大の惨事。書籍「たまえまる」出版を機に、学校、公民館で平和学習を旺盛に取り組む必要があると思う。」

〔教育長〕「戦後75年、事故を知っている人は少なくなっている。内容を記した本の出版は、犠牲者を追悼し、戦争の悲惨さを後世に伝える上でたいへん意義深い。児童向けの本が出版された際、平和学習に積極的に活用。市内全域に広げよう推進したい。」

さかな・鬼太郎・港を 生かす振興を

市長

3つの港を生かし 産業振興に取り組んでいく



無所属 松本 熙 議員

【松本】「重要港湾の境港」「特定第三種漁港の境漁港」「国際空港の米子鬼太郎空港」の3点について



北東アジアの玄関口
「境夢みなとターミナル」

て、現在の社会情勢をふまえた上で実現可能な本市の将来像は。
【市長】世界規模のコロナ禍で本市でも、国内外の活発な人の往来がなく、状況は一変した。本市が持続発展するには、強みである「3つの港」を生かし、産業振興に取り組むことが不可欠だ。今後も市民、事業者、関係団体と知恵を出し、力を合わせ、本市が誇る3つの港を生かし、人

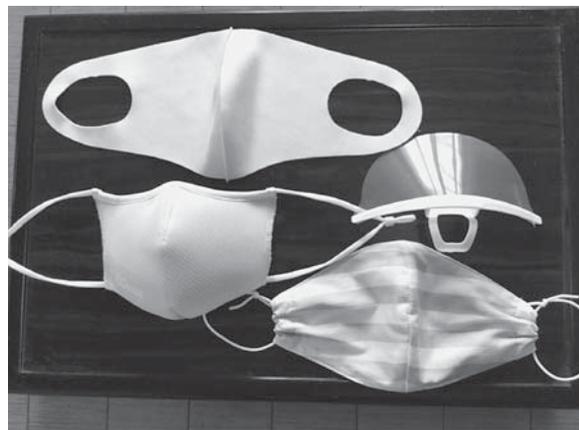
モノ、情報が行き交う活気あふれるまちにしたいと考えている。
【松本】市内で育った若者が帰省しない傾向があるなら、対策を講じなければ市の人材は減る一方だ。具体的な対策は。
【市長】小学生の地域学習や中学生の職場体験学習で故郷を想う心の醸成をはかっている。市内の高校も郷土愛を育む取り組みをされている。

コロナ禍の中で 児童生徒の生活は

教育長

児童生徒の健康を第一に 感染症対策を徹底

【松本】「コロナ禍の中で、児童生徒たちはどのような学校生活を送っているのか」がう。
【教育長】児童生徒は、新しい生活様式にもとづき、朝の検温、こまめな手洗い、人との距離を保つなど、感染症予防対策に取り組み、学校生活を送っている。



児童生徒の感染症対策は、まずマスクです

1学期には、人と出会うことで感染する心配で、外出できない児童生徒もいたが、2学期には落ち着きを取り戻した。
【松本】「学校行事の実態や自粛要請を受けて、児童、生徒、教職員、保護者に変化はないか」がう。
【教育長】運動会、体育祭は、体調管理

や入場制限、実施時間の短縮、密を避ける内容変更などで実施した。
保護者は修学旅行に「行かせたい」「自粛すべき」に分かれた。教職員は、緊張感を持って業務にあたっている。
今後も児童生徒の健康第一で、教育活動をしていく。

新型コロナウイルス感染症対策に関する 要請（第3回）を行いました

8月28日、市議会として境港市長に対し、今年度3回目となる新型コロナウイルス感染症対策に関する要請を行いました。

今回の要請にあたっては、6月29日から7月3日にかけて開催した「境港商工会議所各部会との意見交換会」で、各業界・企業からお聞きした新型コロナウイルス感染症対策についての要望などをもとに、議会改革推進特別委員会で要請項目を取りまとめました。

いただいた切実な声の中でも、特に本市の独自施策として、あるいは本市と関係が深い諸機関に対して要望すべきものを取り上げ、議会の総意として伊達市長に手渡しました。



要請内容

※詳細は市議会ホームページをご覧ください。

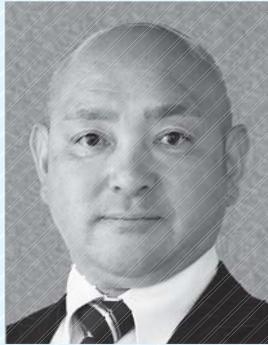
【新型コロナウイルス感染症にかかる支援策について】

- ①事業所が行う感染防止対策への県の助成制度に加え、市として助成の上乗せの実施。
- ②業績が一定以上に悪化した事業者に対する固定資産税の徴収猶予・減免制度の周知徹底。
- ③売り上げが前年比50%減までに至っておらず、持続化給付金を受け取ることができない企業・事業所へ市独自の基準での給付金制度の創設。
- ④業績が大きく悪化したにもかかわらず、自前の建物で事業を行っているため、国の家賃補助を受けられない企業に対し、事業所建設にかかる借入金返済への支援など市独自支援制度の創設。
- ⑤境港水産振興協会が鳥取県に要望した事項に対する県の回答をふまえ、市として要望実現に向けさらなる後押しと必要な支援の実施。
- ⑥水産加工業、飲食店などへの水道・下水道料金の減免制度の創設。

【その他、「アフターコロナ」「ウィズコロナ」への対応】

- ①現在、市内では、深夜・早朝の時間帯のタクシー運行がないため、緊急時の対応や早朝の空路移動のための公共交通手段がない。需要は少なくとも交通弱者の市民にとってたいへん重要なこの時間帯の空白化を解消するため、タクシー事業者の待機に対する市独自助成制度の創設。
- ②境港の貨物取り扱いの拡大へ向け、境港利用への助成制度の拡充や港湾施設使用料の減免など、利便性向上に向けた支援制度の創設。

新議員紹介 ～境港市議会に新しい仲間が加わりました～



吉井 巧
議員

【ごあいさつ】

新人議員の吉井巧でございます。選挙中、そして選挙後も多くの方々とお話をする機会があり、さまざまなご意見や思いを耳にいたしました。これまでの経験をもとに、市民の代弁者としてしっかりと市政に届けてまいります。



加藤 文治
議員

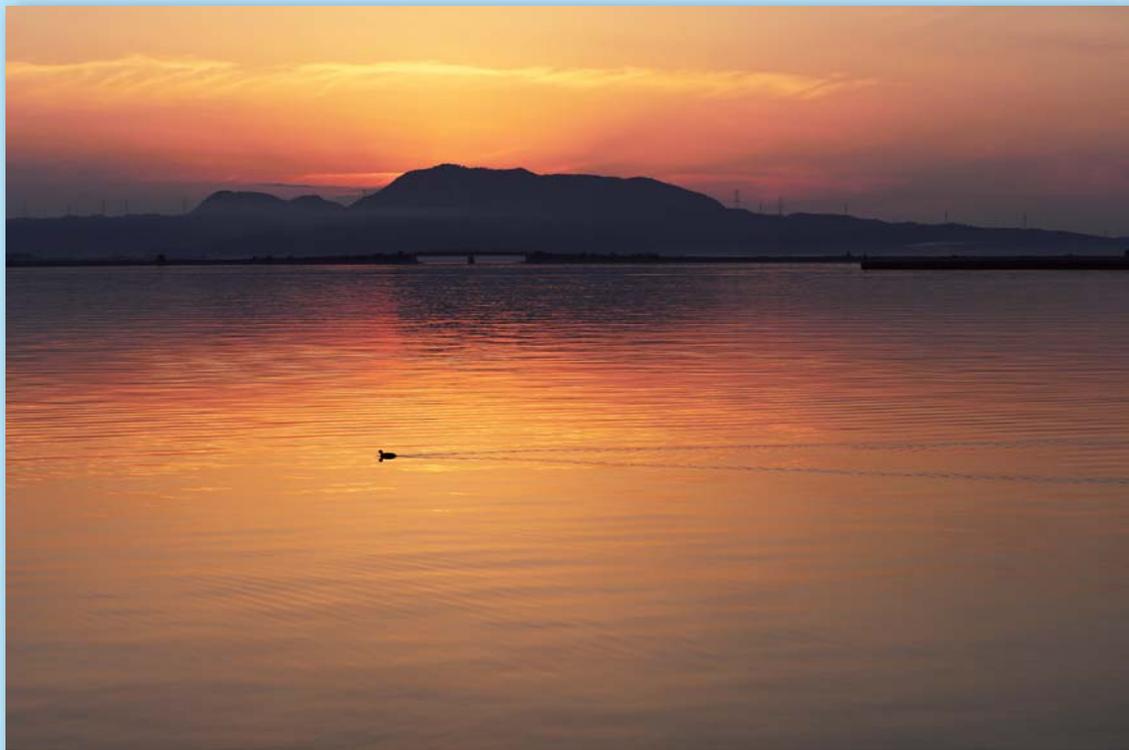
【ごあいさつ】

新議員となりました加藤文治でございます。長年まちづくり活動を率先してきた経験、設計士としての知識、そして何より地元を愛する一市民としての気持ち一杯で議会活動に臨みたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

常任委員会・議会運営委員会・特別委員会 委員名簿

委員会名		構成 委員数	正副委員長	委員					
常 任	総務民教委員会	8	正：平松 謙治 副：松本 照	森岡 俊夫 吉井 巧(新)	柁 康弘 長尾 達也	荒井 秀行 田口 俊介			
	経済厚生委員会	8	正：永井 章 副：岡空 研二	米村 一三 足田 法行	築谷 敏雄 景山 憲	安田 共子 加藤 文治(新)			
	予算委員会	16	正：平松 謙治 副：永井 章	米村 一三 柁 康弘 吉井 巧(新)	岡空 研二 荒井 秀行 安田 共子	森岡 俊夫 築谷 敏雄 長尾 達也	田口 俊介 足田 法行 景山 憲		
議会運営委員会		8	正：米村 一三 副：安田 共子	岡空 研二 築谷 敏雄	柁 康弘 田口 俊介	荒井 秀行 景山 憲			
特 別	基地・空港港湾問題調査 特別委員会	8	正：築谷 敏雄 副：柁 康弘	米村 一三 足田 法行	永井 章 加藤 文治(新)	安田 共子 松本 照			
	災害対策調査 特別委員会	8	正：荒井 秀行 副：足田 法行	岡空 研二 吉井 巧(新)	平松 謙治 長尾 達也	森岡 俊夫 景山 憲			
	議会改革推進 特別委員会	8	正：長尾 達也 副：田口 俊介	米村 一三 永井 章	平松 謙治 築谷 敏雄	森岡 俊夫 松本 照			

令和2年8月4日現在



中海の夕映え 夕日にマイウェイ 2016年 撮影：大濱博幸 様

表紙・裏表紙の写真を募集します！

広報部会では、より市民の皆さまと相互に交流できる紙面作りをめざし、議会だより「つなぐ」に掲載する「表紙・裏表紙の写真」を募集しています。写真の応募については下記をご覧ください。

1. テーマ

「境港市内で撮影した写真」または、「境港市に関係のある写真」

2. 応募資格

市内在住、在勤・在校の方

3. 応募できる写真

被写体となった人物などに応募（掲載）の許可が得られたもの。他人の著作権、肖像権を侵害したような行為が行われた場合におけるトラブルは一切負いかねます。

4. 応募方法

氏名、住所、電話番号、写真のタイトル、撮影場所及びコメントを記入し、画像データを添付のうえ、議会事務局宛てにメールで送ってください。

お手数ですが、メール到着確認のため、メール送信後、議会事務局宛てにお電話をいただきますようお願いいたします。

宛先 境港市議会事務局

メールアドレス gikai@city.sakaiminato.lg.jp

電話番号 0859-47-1097

5. 写真の選定

掲載写真の選定は広報部会で行います。

6. その他

写真に関しては編集の都合上、トリミング処理などの加工を行う場合があります。

著作権は作者本人に帰属しますが、採用された写真は市議会のホームページなどに掲載させていただく場合もあります。

あとがき

9月定例議会は、伊達市長が当選後に迎えた、初議会でした。

選挙戦でも掲げた施策が所信表明でも言明されました。定例会本会議では各議員から所信表明で語られた方針・施策について、活発な議論が交わされました。

議会は新市長の施策が市民生活や福祉の向上に向かっていくのか、絶えずチェックすることが求められます。

さて、議会だよりの編集にあたる広報部会には各会派から1名が参加して構成されていますが、今号から新たに市議の補選で議員となられた加藤文治氏と吉井巧氏が加わり5名となりました。

新加入の編集部員の新しい感覚での活躍が大いに期待されるところです。

(米村)

【発行責任者】

議長 森岡 俊夫

【広報部会】

部長 安田 共子

副部長

米村 一三

足田 法行

加藤 文治

吉井 巧



境港市議会だより

つなぐ

2020.11
第19号

発行／境港市議会

〒684-8501 鳥取県境港市上道町 3000

TEL : 0859(47)1097 FAX : 0859(47)1110